

いいことあるかも!?

開運コース

コンセプトポイント



1 胴切れの地蔵

その昔、西国街道を通る大名行列の前を横切った男が待に斬られてしまったが、ふと気がつくとも何も無く無事だった。そばを見回すと、普段お参りしているお地蔵さんの胴が二つに割れ、男の身代わりとなっていたという伝説が残っている。それ以降近隣の人々が「胴切れのお地蔵さん」と呼び、大切に祀っている。後に回ってみると、地蔵の胴体が二つにわかれていることが確認できる。

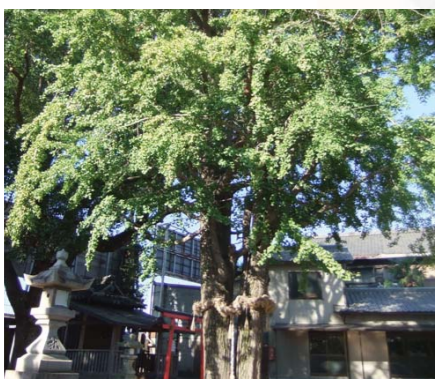
チェックポイント 厄除に御利益がある。



2 大神宮

明治32年、日本毛織株式会社有加古川工場を設立した際にこの社殿を創建した。祭神は天照大御神(あまてらすおおみかみ)で、伊勢神宮より分霊を祀っている泊神社(とまりじんじや)から、さらに分霊を祀り建立された。境内には御神木の樹齢約360年の大銀杏がある。年始には新年祭神事を行っている。

チェックポイント 商売繁盛、厄難消除、無病消災、家内安全、交通安全に御利益がある。



3 夫婦銀杏

春日神社(かすがじんじや)の境内にある御神木の銀杏。通常銀杏は雄株と雌株が別なのだが、この銀杏は1本の木の根元で二股に分かれており、片方が雄株、もう片方が雌株となっている。そのため、「夫婦銀杏」として大切にされている。戦前までは境内でお見合いが盛んに行われていた。推定樹齢は100年。

チェックポイント 夫婦円満、縁結びに御利益がある。



4 赤壁神社の怪猫

春日神社の横にある赤壁神社と、そこにある撫猫の像。その撫猫にまつわる話がある。昔、加古川宿にいた徳蔵(とくぞう)という職人が飼っていた猫が、主人と一緒に博打に行くと、サイコロの目を教えるようになった。おかげで博打に大勝した徳蔵はその帰り道、有り金を巻き上げられた博打の相手に殺されてしまう。その後猫が主人の仇討を果たすが、返り討ちにあってしまう。建築当時、赤壁神社の壁は、そのときの猫の血で染まった壁を使っているといわれていた。

チェックポイント 怪猫タマの像を撫でればギャンブル運アップ!?

加古川公民館エリア「開運コース」では、縁結びの樹として伝えられる夫婦銀杏やギャンブル運アップ!の撫猫など、隠れ開運スポットをめぐります。

また、開運スポットを巡りながら、西国街道の歴史探訪もできまさに一石二鳥! 歩けばあなたもいいことあるかも!?

